

## 諏訪之瀬島

### 火山活動評価：活発な状況(レベル3)

爆発的噴火や噴火が時々発生するなど、噴火活動は活発でした。火山性地震の発生は多く、火山性連続微動を時々観測するなど地震・微動活動は活発な状態で経過しました。

現在の火山活動度レベルは3です。平成17年2月1日の導入以降、レベル3が継続しています。

### 概況

#### ・ 噴火活動(図2)

噴火日数は4日間(16日、19~20日、31日)で、爆発的噴火は20日に発生し、1回(11月：1回)でした。

噴火に伴う噴煙の最高高度<sup>1)</sup>は700m(11月：1,000m)でした。

十島村役場諏訪之瀬島出張所によると19日に集落(御岳の南南西約4km)で降灰がありました。

#### ・ 地震、微動活動(図1、図2)

A型地震の発生は1回(11月：3回)、B型地震は290回(11月：222回)でした。

継続時間の短い火山性微動の月回数は41回(11月：87回)でした。

火山性連続微動は2~4日、19~20日に発生しました。

#### ・ 火口や噴気の状況(図3)

1日に実施した海上自衛隊鹿屋航空基地救難飛行隊の協力による上空からの観測では、火口付近の状況及び赤外熱映像装置<sup>2)</sup>による表面温度分布に特段の変化はありませんでした。

1)2003年3月28日以降、噴煙の最高高度は監視カメラによる観測値と十島村役場諏訪之瀬島出張所の報告値のうち高い値を用いています。

2)赤外熱映像装置は、物体が放射する赤外線を感知して温度分布を測定する測器であり、熱源から離れた場所を測定することが出来る利点があるが、測定距離や大気等の影響で実際の熱源の温度よりも低く測定される場合があります。

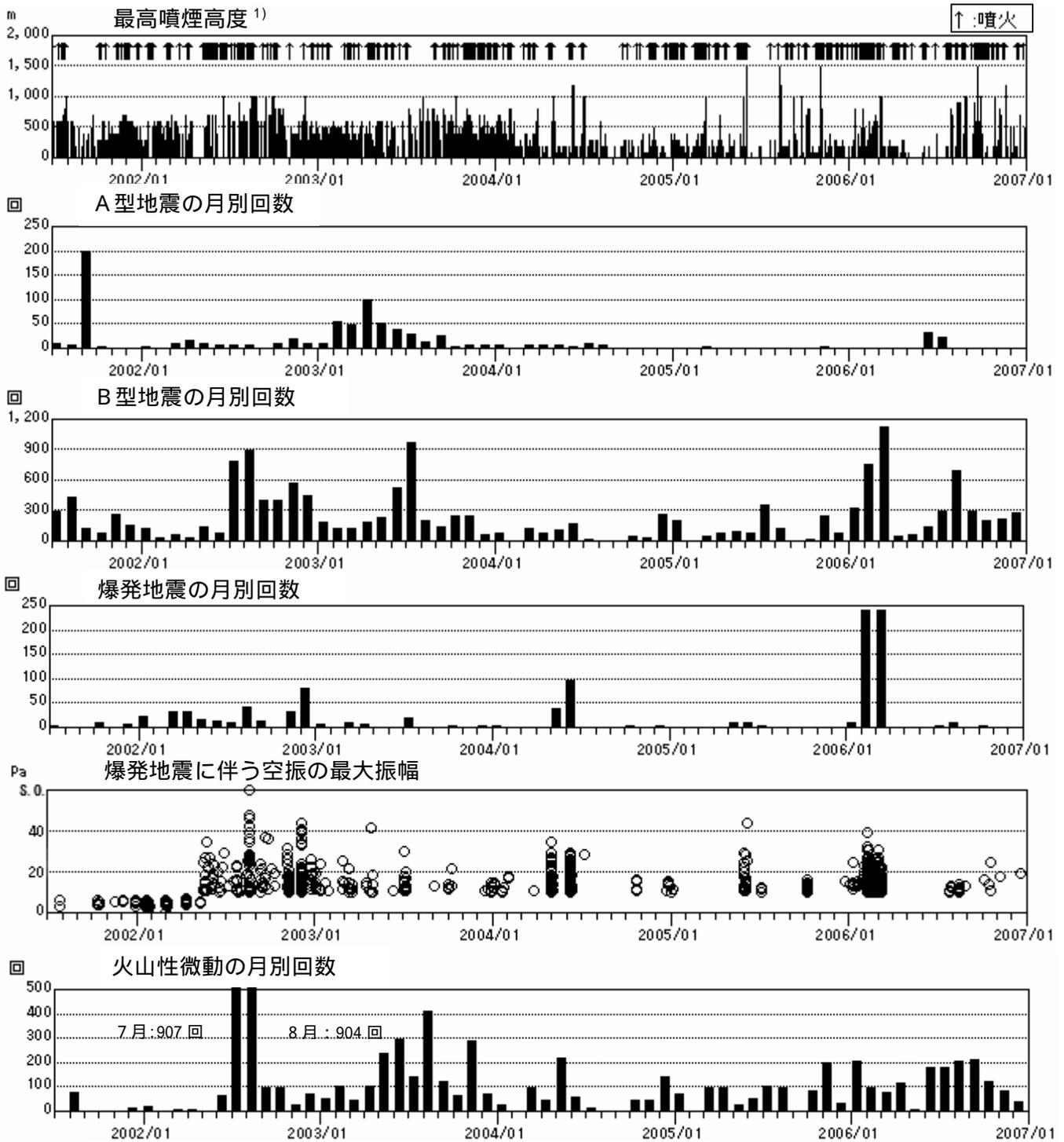


図1 火山活動経過図(2001年7月~2006年12月)

- ・ 爆発地震は20日に1回発生しました。
- ・ 噴火は16日、19~20日、31日に発生しました。
- ・ 噴煙の最高高度<sup>1)</sup>は700m(16日)でした。
- ・ A型地震は1回で、B型地震は290回でした。
- ・ 継続時間の短い火山性微動は41回でした。

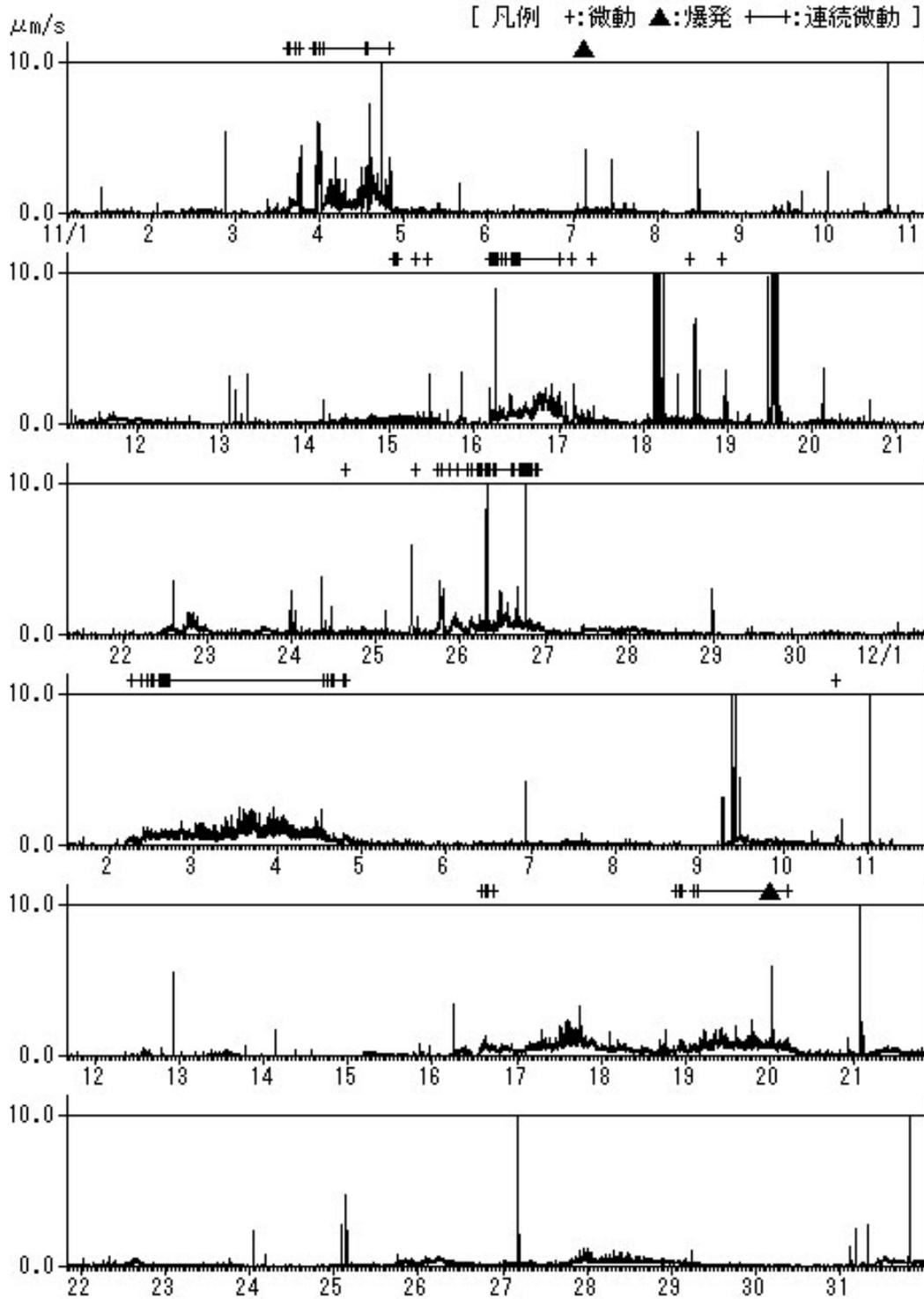


図2 1分間平均振幅の時間変化 (SWA1 上下成分)  
(2006年11月1日~12月31日)

- ・ 爆発的噴火は20日に発生しました。
- ・ 火山性連続微動は2~4日、19~20日に発生しました。

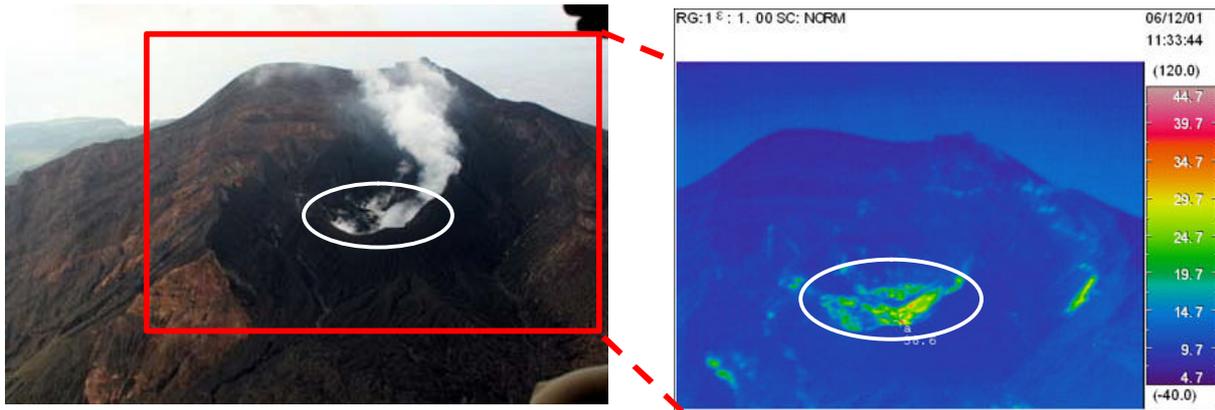


図3 諏訪之瀬島御岳 火口付近の様子

(2006年12月1日 御岳北西上空から撮影 左:赤外熱映像装置<sup>2)</sup>での表面温度分布)

- ・噴煙は白色で火口底から約200メートルの高さまで上がり南西方向に流れていました。
- ・温度の高かった領域は白囲みです。

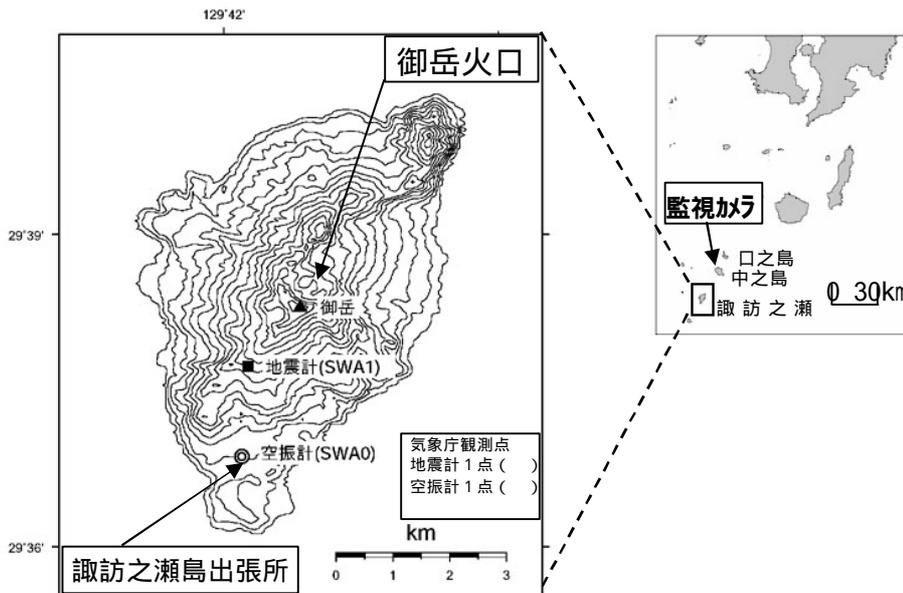


図4 観測点位置図

地図の作成に当たっては、国土地理院の承認を得て、同院発行の『数値地図50mメッシュ(標高)』を使用しています(承認番号:平17総使、第503号)。